



秋季年末闘争で組織建設と要求前進を！ 統一闘争への結集を改めて徹底しよう！

2017年の秋季年末闘争は終盤に入りつつあります。建交労は年間の組合員2000人の純増達成に向けて秋の組合員拡大月間にとりくんでいます。県南支部は10月29日に開催した定期大会で、年間100人の組合員純増の目標を掲げました。そのなかで、既に4人の新入組合員を迎え入れた分会（支部執行委員会の確認を経て公表）がありますが、それ以外の成果は報告されていません。各分会は建交労への加入対象者や対策を具体的にして足を踏み出し、秋年末闘争で必ず組合員拡大の成果をあげましょう。

また、年末一時金闘争は12月中旬までの支給確保に向けて山場に入っています。各分会は次の全国統一集中日【11月15日～16日】【22日・24日】【12月6日～7日】【13日～14日】への結集を改めて徹底しましょう。

建交労パワーアップ試験は支部の受験者 12人全員が提出！

パワーアップ試験受験者の皆さんご苦労さまでした。このあとは、勤通大と全労連わくわく講座受講者のみなさんの全員修了も必ず実現しましょう！

春闘アンケート・各種署名の推進をはかろう

建交労は、2018年春闘アンケートと“9条改悪反対”“核兵器廃絶”などの各種署名活動を全組合員の参加で大規模に取り組むことを呼びかけていますが、神奈川県南支部の到達点は以下の一覧表のとおり極めて不十分です。各分会は、春闘アンケートと署名活動を大きく広げて組合員の拡大にもつなげましょう。

	2018年春闘アンケート				各種署名						
	トラック 職場	一般 パート	トラック 経営	アンケー ト合計	トラック 個人署 名	トラック 団体署 名	ヒバク シャが 求める 核廃絶 署名	9条改悪 反対 3000万 署名	過労死 と 差別根 絶を求 める 署名	11.8中 央行動 厚労省 署名	11.8中 央行動 国交省 署名
① 内外液輸	1			1			25	10	10	3	3
② 福岡運輸	1			1			5		5	1	1
③ 田中製菓		3		3			60				
④ イワサワ	1			1						2	2
⑤ 東進産業	2			2			9		4	2	2
⑥ 中日臨海	1			1				5	5	1	1
⑦ 高橋運輸	4	4		8	5		9	17	9	2	5
⑧ 日酸運輸											
⑩ 扶桑運輸											
⑫ アズマインター											
⑬ 三昭運輸	5	4		9	5		25	15	25	6	6
⑭ ギオン							2				
⑮ 合同分会	1			1			28	20	20	4	9
⑯ その他							5				
⑰ 県南支部	1			1	67		27				
合計	17	11		28	77		195	67	78	21	29



被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、 核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、 すべての国に求めます。

人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ました。それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名前	住所	募金

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 ☎03-5842-6031